

若者に愛を 地域に活力を



田中一正 議員

問 青少年の犯罪が低年齢化、凶悪化の傾向にあり、本市及び近隣市町村でも事件が起きているが、対策について伺う。

答 当該事件については、警察の協力を得ながら解決し、生徒指導・対策を行っている。

問 青少年の将来性を鑑み、現在、犯罪予防に活動している市青少年センターを機能アップし、青少年健全育成専門組織とし



▲相馬野馬追・甲冑競馬

問 すぐに大きくは出来ないが、皆さんの声を反映した形で検討して行く。

問 相馬野馬追祭は、観光客の通過点のような印象であるが、農業交流、姉妹都市交流等を活用し、民泊を導入しながら、宿泊客を増やし、町興しする考えはあるか伺う。また、野馬追特区で、太田神社から雲雀ヶ原までの道路整備、祭りのPRとし

答 て、馬頭観音を集約して供養する考えはあるか伺う。

答 宿泊客の増加施策として、民泊は有効な手段であり、関係機関団体に働きかけて行く。市道の整備に関しては、土地改良区等と協議をしながら整備をする事は可能かと考える。馬頭観音の供養に関しては、行政が行うのは難しい。

少子化対策 について



土田美恵子 議員

問 ブックスタート事業の取り組みについて。この事業は、全国の自治体で取り組まれている運動です。乳幼児の健診時に絵本をプレゼントし、母子のふれあいの時間を多く持つってもらうため、積極的に進める考えがあるか伺う。

答 県内各地で行なっている事例もあり、よく検証しながら実施に向けて前向きに検討する。

問 乳幼児医療費の助成制度について。特に子供にかかる医療費の経済的負担が大きいため、対象年齢を小学6年生までに拡大する考えがあるか。

答 財政状況を勘案し、そのほかの子育て支援事業との関連を総合的に見極め対処する。

問 児童クラブ事業について。共働きの家庭も多く、小学3年生まででなく、小学6年生まで



▲真野幼稚園

の強い要望があり、安心して働くことができる環境の整備、拡大の考えがあるか伺う。

答 今回の居場所づくりについては、地域のボランティアもお願いする部分もあり、それらの調整を図りながら早い時期に一つ一つ進めてまいりたいと考える。

ニユースポーツ 広場の改善を



小川尚一 議員

問 スポーツ振興のまちづくりは、教育効果だけでなく、高齢者の健康増進、介護予防、子供たちの発育促進、健全育成に繋がり、さらに交流人口拡大、地域経済への効果が期待できます。各スポーツ施設の整備促進について伺います。

答 施設整備の推進は、競技団体や利用団体の理解や協力が不可欠です。意見などを把握しな

がら利用者ニーズに応えるよう、今年度に、目標年次計画を明示したスポーツ施設整備計画を策定してまいります。

問 ニユースポーツ広場については、高齢者だけでなく家族による利用があり、特にパークゴルフについては、1ヶ月に平均約1,500人の利用があります。協会より狭隘な施設の改善要望がありますが、取り組む考

えを伺います。

答 利用状況等も踏まえながら、今回の施設計画の中で生涯スポーツの施設整備も合わせて検討したいと考えます。

問 環境教育について。教育委員会としてキッズISOを積極的に推進する考えを伺います。

答 教育委員会としまして、教育課程に位置付けて進めてまいりたいと考えています。



▲浜スポーツ広場

質問順に掲載しています。
また、内容は紙面の都合で要約しています。

道の駅南相馬の シンボルは



寺内安規議員

問 道の駅建設用地は、無線塔が立地していた場所であることから、この事実を利用したシンボル作りが出来ないか。

答 昭和56年に取り壊しとなったが、原二中校歌にも残り、当地域の人々だけでなく、この地域を離れた人々の心の中にも無線塔が空高くそびえ立つ姿が今でも生きている。レーザー光線でもって無線塔の姿を再現

し、夜間だけでも200mの塔があった姿を示すことが出来るよう検討する。

問 人事異動の基本的考えと自治区間の人事交流について伺う。

答 行政経営システムの刷新に向けた適材適所の人事、各区役所相互の人事交流の活発化を通じて市政運営の一体性の醸成、旧市町間でのポスト配分主義で

ない信頼性・公平性の確保、組織における新陳代謝が促進される人事を進めている。

問 防災センター建設計画に含ませ、鹿島分署建設と防災機能の関わりについて伺う。

答 しっかりとした分署と防災備蓄倉庫を備えることが市民の方々の安全安心を確保していくよう検討する。



▲ミミ無線塔

市長の政治 姿勢について



小林吉久議員

問 今後の道路整備のあり方について伺う。

答 中心市街地や他市町村との連絡道路を主に優先度合を勘案し、順次整備を進める。今後の道路整備にあたっては、財政状況を十分考慮し、長期的な道路整備の策定など、市民にわかりやすい道づくりに努める。

問 旧鹿島町では、第2次土地利用計画に基づいて、サービス

エリア拠点ゾーンを、小山田、浮田地区に予定してきたが、地権者の動向から不可能との動きがある。

答 現在、民間会社のネクスコが整備促進中だが、予定地に共有地があり、時間的に整備計画に間に合うか検討し、間に合わない事態になると大変なことになるので協議を重ねている。

問 供用開始は平成26年であ



▲高速道路建設状況

るから、地権者の同意が得られない場合、執行者の責任となるのでは。

答 旧鹿島町では道路公団へ陳情活動をし、地権者の調査に入ったものの、ネクスコから鹿島町での先行でなく、整備に合わせてとのことで調査を中断したことが遅れの要因となっている。

大甕産廃処分場 問題について



櫻井勝延議員

問 用途変更を求めていくことが市長の公約ですから、産廃場を建設させないという認識で間違いないか伺いたい。

答 裁判の結果を見てみないと対応の方法がないと考えている。

4大事業の対応の違いについて

問 事業によって対応と展開が異なることについて伺う。

答 一つ一つ事業経過が異なっていたことから、南相馬市全体



▲大甕産廃計画地

の利益を総合的に判断した。

専決処分について

問 議会でも継続審査となった「道の駅条例」を専決処分した経緯について伺いたい。

答 市全体の利益を確保するために、専決処分をしたということである。

問 庁議をして専決したということと間違いないか伺う。

答 議員の質問の通りでございます。

情報開示での議事録には、専決処分の「専」もないのではないか。

答 市長の専決により対応しているということである。

問 議会の議決を飛び越えて専決処分することで、後の条例、承認、予算で議会と対立することを考えなかったのか伺う。

答 議員の皆様にもご理解を頂きたと考えているところである。